

## 第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)に対する意見交換会について

政策等の議題(テーマ) の名称及び検討事項		第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)に対する意見交換会	
開催日時		令和2年9月 19 日(土) 午前 10 時から 11 時 30 分まで	
開催場所		荻野運動公園 会議室	
出席者数		16 人	
担当課	企画政策課	結果公開日	令和2年 10 月9日
会議の経過		1 開会 2 部長あいさつ 3 第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)の説明 4 意見交換 5 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方	
1	義務的経費と投資的経費の項目数はどれくらいあるのか。	平成 30 年度決算においては、義務的経費については、65 項目。投資的経費については、44 項目となっています。	
2	将来の目標人口を 22 万人としているが、その根拠は何か。 また、高齢者人口が増えるということがグラフから見て取れるが、どのような根拠で推計しているのか。	人口の推移については、国立社会保障・人口問題研究所が国勢調査の結果等をもとに人口の推計を出しています。 将来の目標人口は、この推計のとおりにならないよう本市独自の施策を展開し、それが達成された場合に得られる数値となっています。	
3	人口の推移には外国人の方も含まれていると思う。本市に住む外国人の方の割合が年々増えていることをしっかりと把握しているのか。	把握しています。近年、本市における外国人の方の就労が増えており、それに合わせて人口も増えています。	
4	意見交換会とパブリックコメントが並行して行われているが、本来、意見交換会はパブリックコメントの前にやるべきものであり、今回の意見交換会は市民参加手続上の意見交換会と	今回の意見交換会については、条例で定められている市民参加手続とは違い、パブリックコメント期間中に基本構想(案)の説明会を兼ねて開催しているものです。 今後は誤解を招かないよう冒頭で皆様に御案	

	<p>は言えないのではないかと。 意見交換会を始める前に、今回の意見交換会がどういう位置づけで行われているのかを説明するべきではないか。</p>	<p>内します。</p>
5	<p>基本構想の計画期間を 12 年とした根拠は何か。 会議等で決まったのであれば、どういった検討がなされたのかしっかりと公表するべきではないか。</p>	<p>構成や期間について会議等で検討を重ねた結果、3年間の実施計画、6年間の基本計画、12年間の基本構想という三層構造が本市の市政運営上最善の構造であると判断しました。どういった検討がなされたのかをしっかりと公表すべきではないかという点については、御指摘をしっかりと受け止めたいと思います。</p>
6	<p>産業大分類別構成比を見ると学術研究 専門・技術サービス業が県平均と比較して突出しているが、日産テクニカルセンターがあるから突出しているのか。また1社が占める割合はどの程度か。反対に、情報通信業が県平均と比較して低くなっている。 情報発信都市として以前は熱を入れていたと認識しているが、今後、市として情報発信をしていく上でどのような努力していくのか。</p>	<p>御指摘のとおり学術研究 専門・技術サービス業が非常に突出していますが、これは日産テクニカルセンター1社でこのような結果になったわけではありません。森の里地区を始め、市内には学術研究 専門・技術サービス業の会社が多数あることから、このような結果になりました。情報通信については、事業所数、従業員ともに県平均を下回っていますが、本市の取組としては、情報技術をしっかりと取り入れた取組を行っていきたいと思っています。</p>
7	<p>環境教育の充実を図ると書かれているが、市内の小中学校において、どのような形で教育として取り組んでいこうと考えているのか。</p>	<p>現在も授業の中で、環境教育に取り組んでいます。具体的な取組については、基本計画や実施計画で明らかにしていきたいと思っています。</p>
8	<p>人口減少が見込まれる中、子育て世代への援助がより重要になってくると思う。また、援助だけでなく子育て世代を呼び込むための施策等が必要だと思うが、市としてどのように考えているのか。 また、今後、自分が持っている施策等意見をどのように市にお伝えすればよいか。</p>	<p>子育て世代の方への支援というのも大事ですが、子育て世代の方に対する施策だけでなく、防災への取り組みや交通環境の改善など、総合的に住みやすいまちを作っていくことが人口の増加に繋がっていくと考えています。 施策等の御意見は、直接言っていただいても結構ですし、各公共施設に政策提案用紙を用意してありますので、そちらから提案していただくことも可能です。</p>

9	現状の推定人口のグラフを基本構想の中にいれてはどうか。	人口の推計については、人口ビジョンというものが、そちらで将来にわたる人口の推計がグラフになったものを策定しています。 現行の総合計画にも掲載されていますが、第10次総合計画についても、どのように人口が推移するのかグラフでお示したいと考えています。
10	交通環境の変化について、市役所が移転した場合に周辺道路の拡幅工事などは予定しているのか。	交差点の需要率調査では、開発により交通量が増加しても、現在の交差点で十分に機能するという結果は出ていますが、渋滞を懸念される住民の方の声もあることから、移転先周辺の道路については、拡幅工事を予定しています。また、周辺道路の拡幅工事に併せて、新規道路の整備も予定しています。
11	現在の庁舎において、来庁者駐車場の一日あたりの使用台数はどの程度か。	一日あたり、800～900台の車が利用しています。